

認定書

国住指第32号
平成25年7月22日

株式会社古河テクノマテリアル
代表取締役社長 戸崎 敏夫 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第129条の2の5第1項第七号ハ（防火区画貫通部1時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0694
2. 認定をした構造方法等の名称
ケーブル・電線管／外装材付グラファイト混入無機質充てん材シート・有機質バインダー入無機質充てん材充てん／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ケーブル・電線管／外装材付グラファイト混入無機質充てん材シート・有機質バインダー入無機質充てん材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

2. 申請仕様の寸法等：

申請仕様の寸法等を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法等

| 項目 | | 申請仕様 |
|--------------------------------------|----|--|
| 開口部 | 形状 | 円形(φ160mm以下) |
| | 面積 | 0.02m ² 以下 |
| 占積率 (開口面積に対するケーブル・電線管の断面積の総合計の割合) | | 26.6%以下 |
| 貫通する壁の構造等 | | 建築基準法施行令115条の2の2第1項第一号の規定に基づく準耐火構造(60分) 又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分) 厚さ60mm以上 |

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に、ケーブル・電線管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

| 項目 | | 申請仕様 | |
|-----|-----------|---------|--|
| シート | | 材料 | 外装材付グラファイト混入無機質充てん材シート |
| | | 寸法 | 総厚さ：2.25mm以上 幅：30mm以上(片側壁面から30mm以上) |
| | | 使用箇所 | 壁片側のケーブル・電線管周囲に1周以上巻付け |
| | 表面材 | 材料 | ①又は② ①ガラスクロス(化粧：あり又はなし) 化粧の材質：1)～4)の一 1)ポリエチレン系樹脂 2)塩化ビニル系樹脂 3)シリコーン系樹脂 4)オレフィン系樹脂 質量：75g/m ² 以下 ②アルミニウム箔貼付ガラスクロス |
| | | 厚さ | 0.25mm以上 |
| | 熱膨張性耐火シート | 材料 | グラファイト混入無機質充てん材シート |
| | | 厚さ | 2mm以上 |
| | | 密度 | 1.66(±0.15)g/cm ³ |
| | 裏面材 | 組成(質量%) | 材料組成は社外秘とさせていただきます |
| | | 材料 | ①～④の一(粘着処理：あり(片面)又はなし) ①ポリエチレン系フィルム ②ポリプロピレン系フィルム ③塩化ビニル系フィルム ④ポリエステル系フィルム |
| | | 厚さ | 0.1mm以下 |

つづく

つづき

| | | |
|------|-------------|-------------------------------------|
| 充てん材 | 材料 | 有機質バインダー入無機質充てん材 |
| | 密度 | 0.95 (±0.15) g/cm ³ |
| | 組成 (質量%) | 材料組成は社外秘とさせていただきます |
| | 使用量 | 開口内に隙間無く密に充てん (壁片側から壁厚方向に40mm以上) |

表3 申請仕様のケーブル・電線管の構成材料

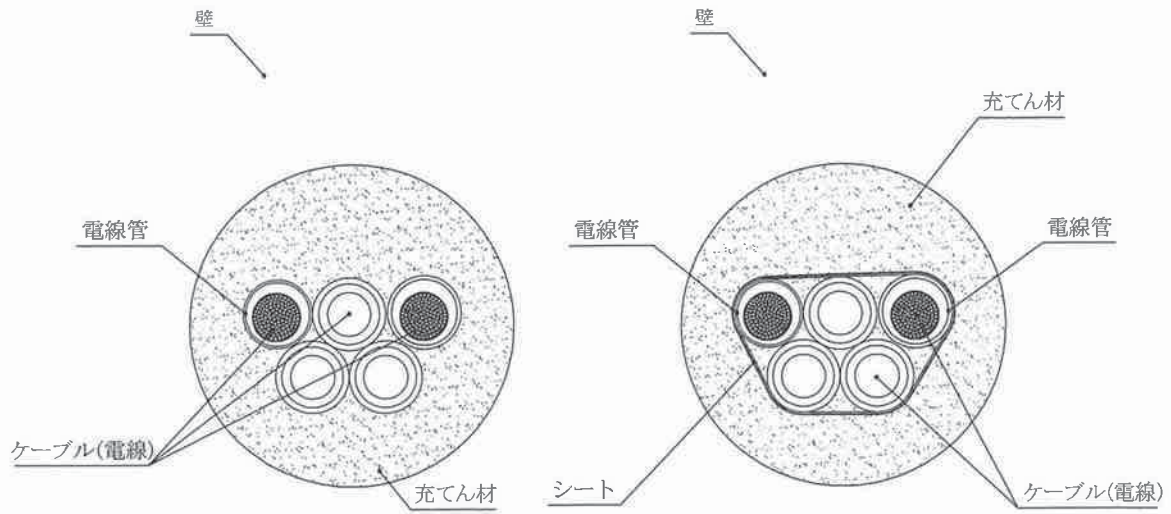
| 項目 | 申請仕様 | | | | |
|--------------|----------------------|----------------------------------|------------------------|---------|--|
| ケーブル (電線) | 導体 (又は芯線) の断面積 | 1本あたり | 325mm ² 以下 | | |
| | | 総合計 | 1242mm ² 以下 | | |
| | 総有機量 | 3.07kg/m以下 | | | |
| | 導体 (又は芯線) の種類 | 銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質 | | | |
| | 絶縁体 | ポリエチレン系 | 厚さ | 4.5mm以下 | |
| | | 塩化ビニル系 | | | |
| | | EPR (エチレンプロピレン系) | | | |
| | 介在 (円形に調整 する充てん材) | 紙、ジュート、又はポリオレフィン | | | |
| シース | ポリエチレン系 | 厚さ | 3.1mm以下 | | |
| | 塩化ビニル系 | | | | |
| | ポリオレフィン系 | | | | |
| | 合成ゴム系 | | | | |
| 電線管 | 材料 | 合成樹脂製可とう電線管 (JIS C 8411、PF管・CD管) | | | |
| | 外径 | PF管φ36.5mm以下、CD管φ34mm以下 | | | |

4. 申請仕様の副構成材料：
申請仕様の副構成材料を表4に示す。

表4 申請仕様の副構成材料

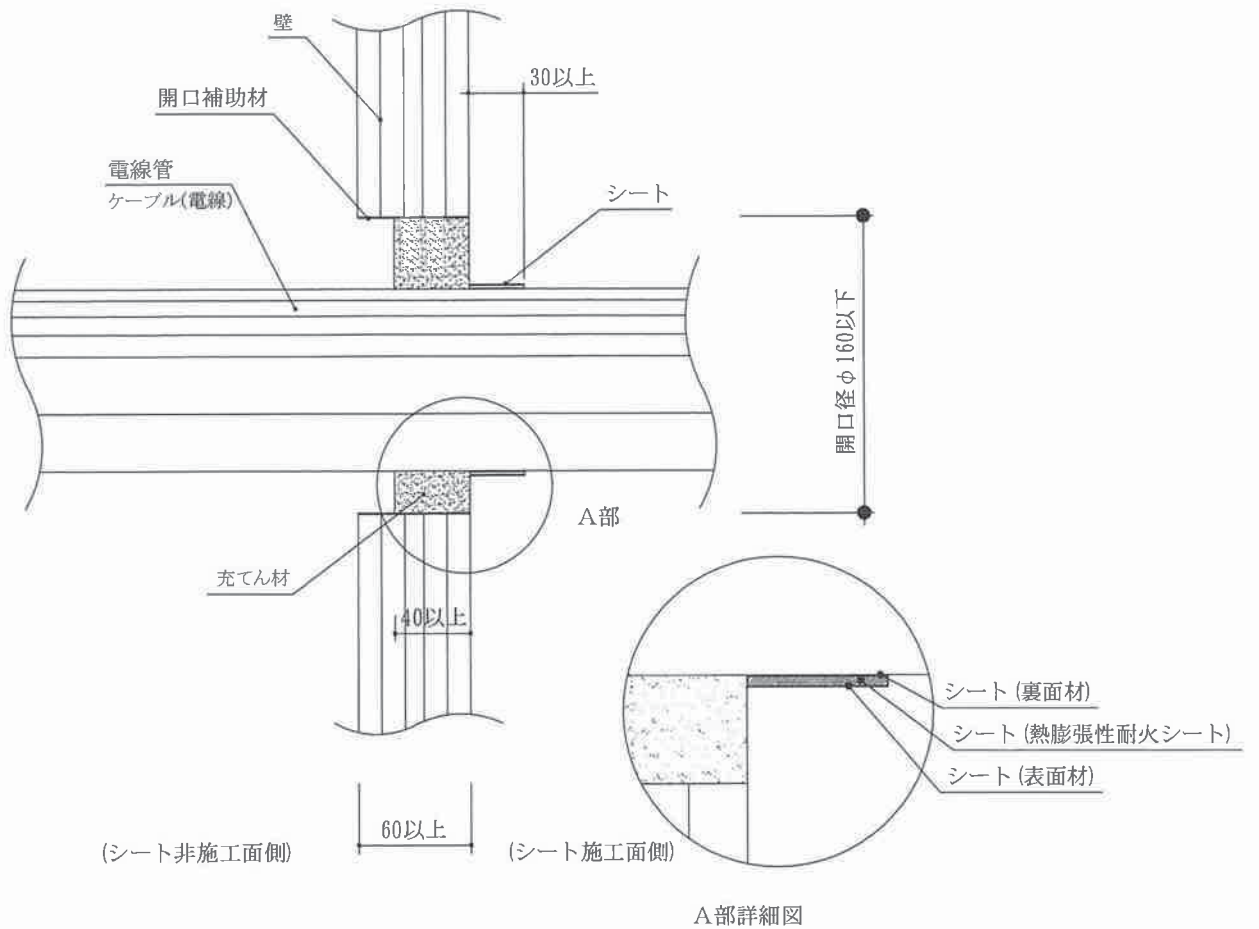
| 項目 | 申請仕様 | |
|-------------------|------|-------------------------|
| 開口補助材 (あり又はなし) | 材料 | 鋼製 (めっき処理品含む) 又はステンレス鋼製 |
| | 寸法 | 厚さ0.25mm以上、長さ60mm以上 |
| | 形状 | 円筒状 |
| | 使用方法 | 中空壁等の場合に使用 |

5. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1及び図2に示す。



立面図 (シート非施工面側)

立面図 (シートの施工面側)



(シート非施工面側)

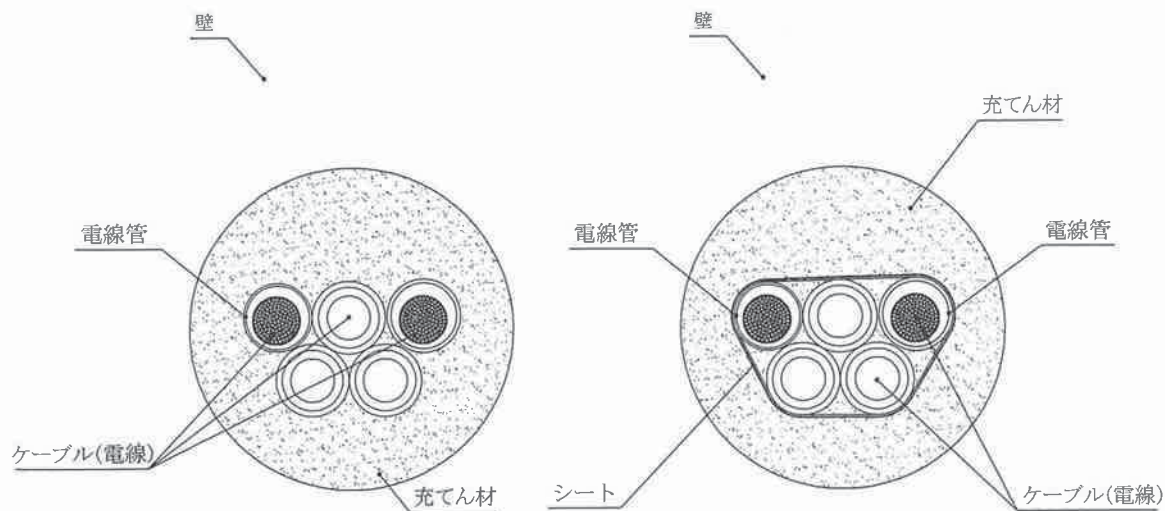
(シート施工面側)

A部詳細図

鉛直断面図

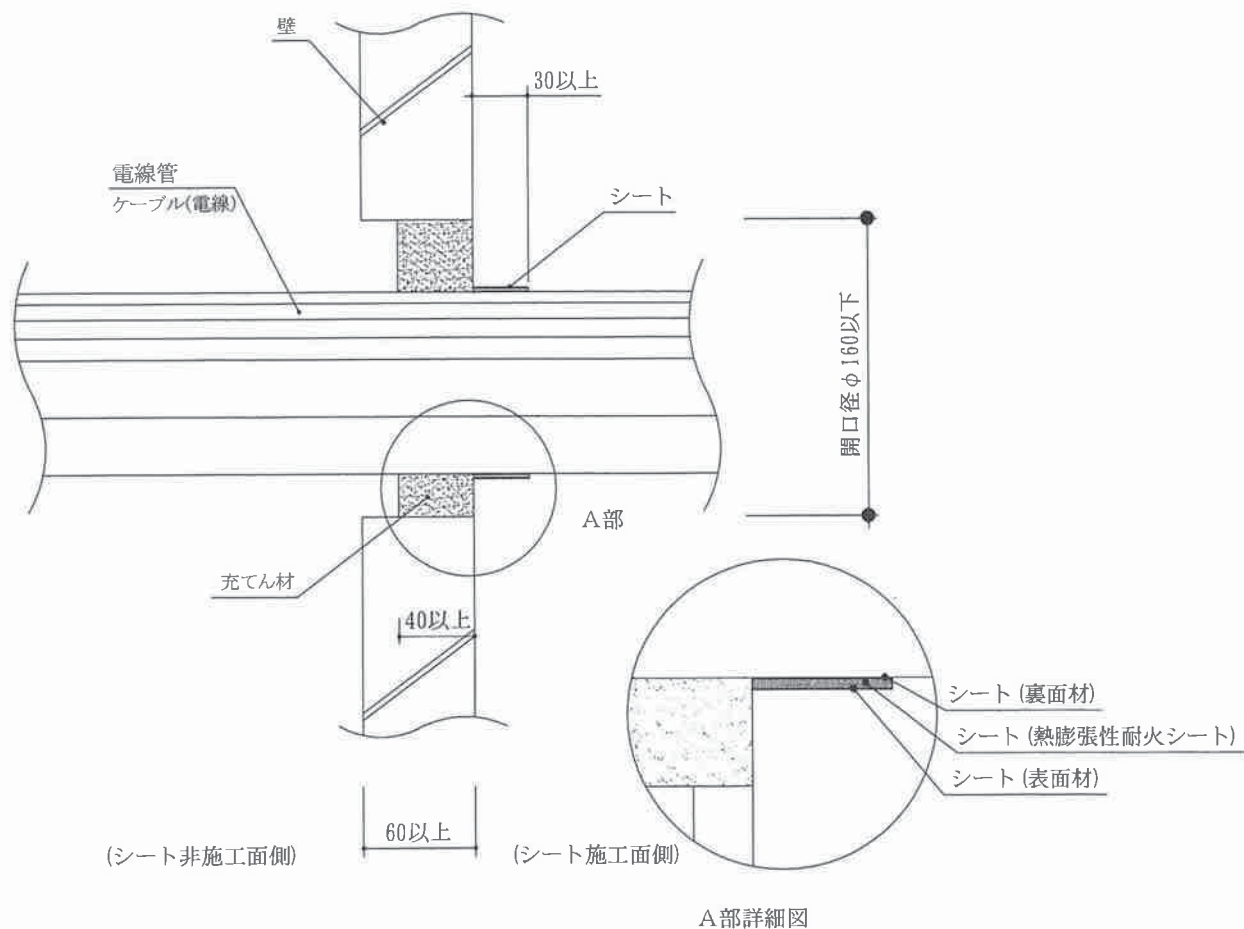
注1) 中空壁等の場合
注2) 電線管・ケーブル等の配置の一例を示す

図1 構造説明図



立面図(シート非施工側)

立面図(シートの施工側)



(シート非施工側)

(シート施工側)

A部詳細図

鉛直断面図

注1) ALCパネル、鉄筋コンクリート造等の場合
 注2) 電線管・ケーブル等の配置の一例を示す

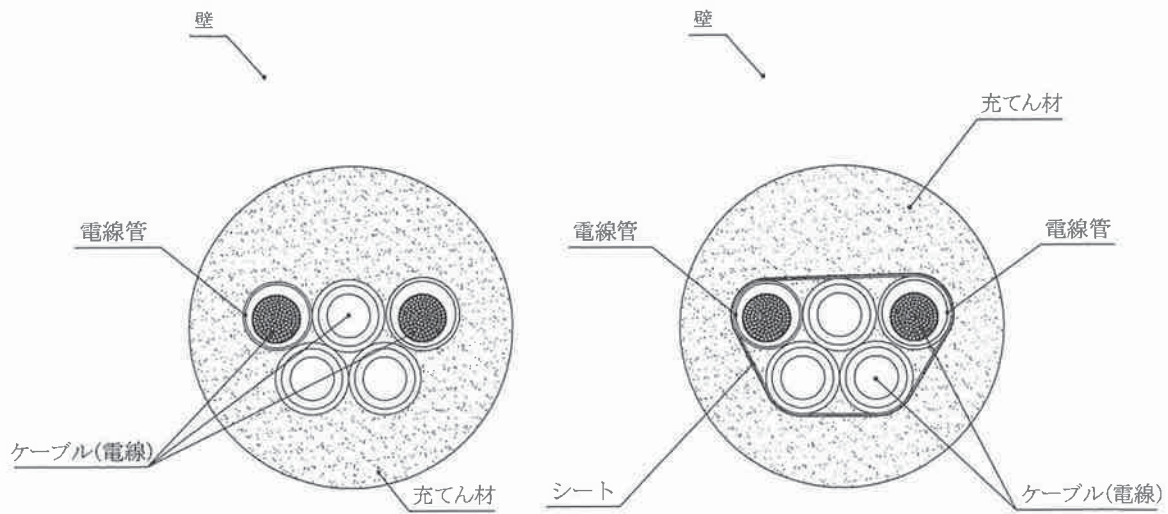
図2 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図3及び図4に示す。

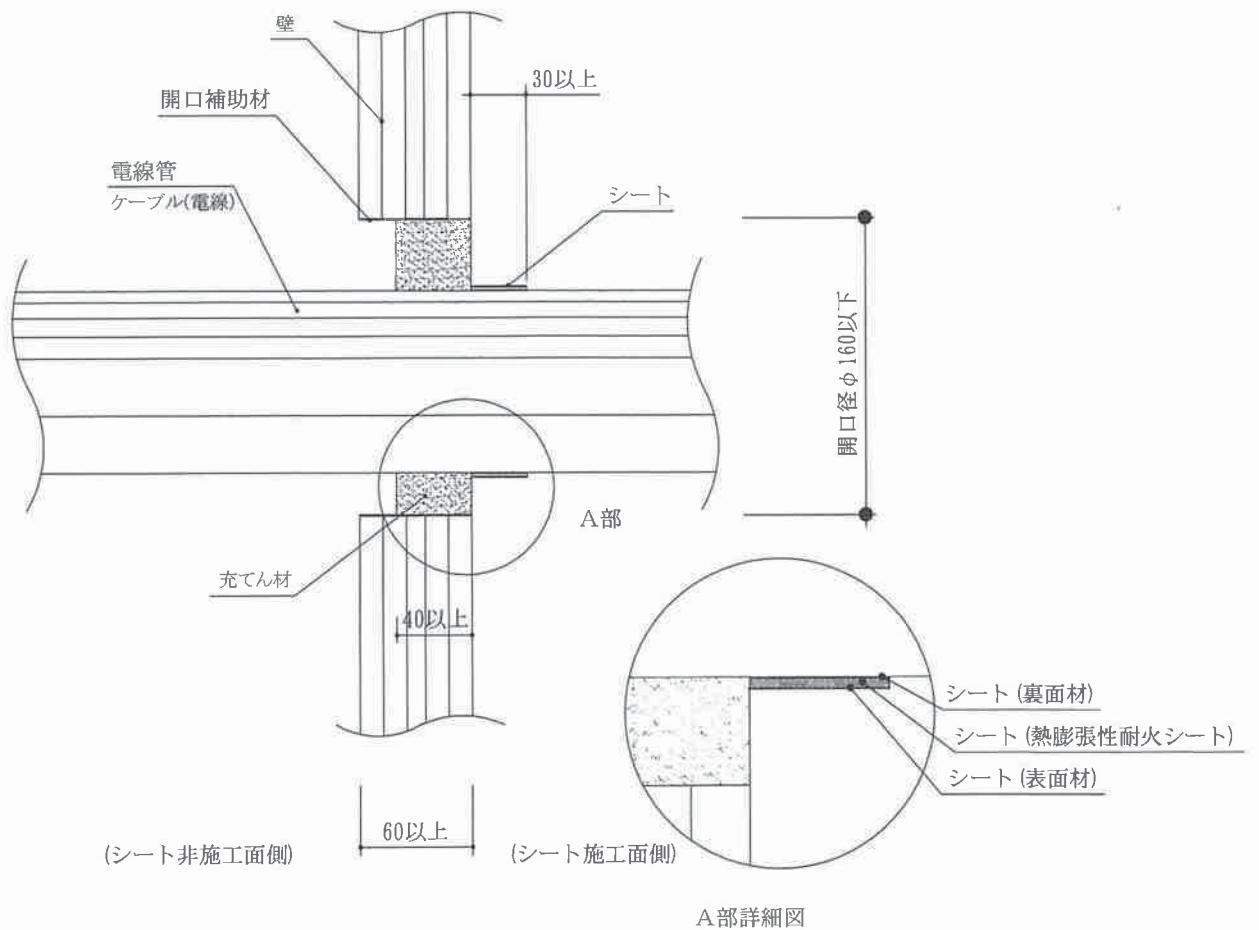
施工は以下の手順で行う。

- (1) 開口部の開口面積、壁の構造等が申請仕様に適していることを確認する。
- (2) 開口部の周囲を清掃する。
- (3) 開口部とケーブル・電線管の隙間に耐熱シール材を、壁厚方向に40mm以上密に充てんする。
- (4) シートを、壁片側のケーブル・電線管周囲に1周以上巻付ける。必要に応じて金属線等で固定してもよい。



立面図 (シート非施工面側)

立面図 (シートの施工面側)



(シート非施工面側)

(シート施工面側)

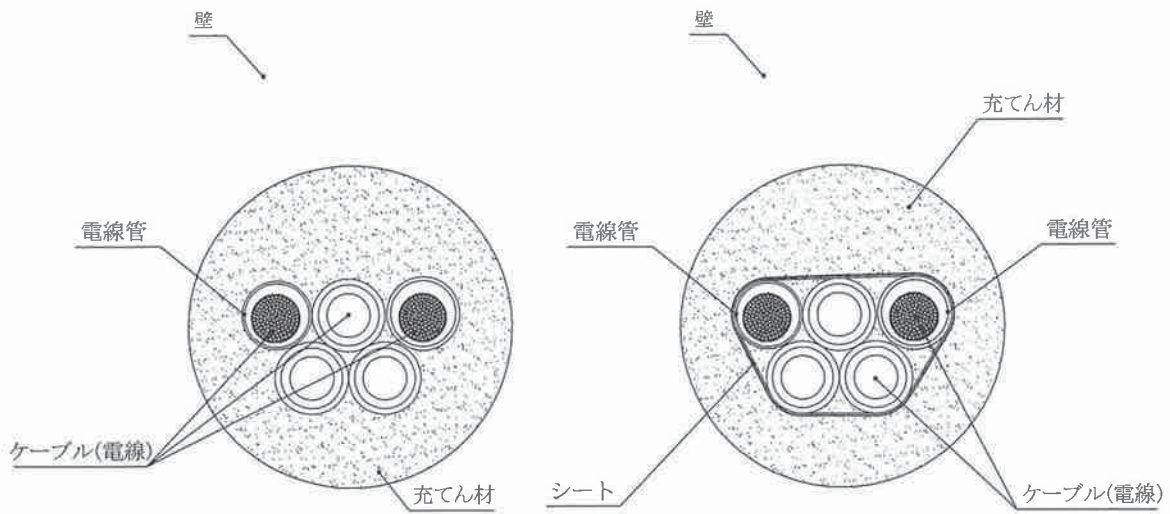
A部詳細図

鉛直断面図

注1) 中空壁等の場合

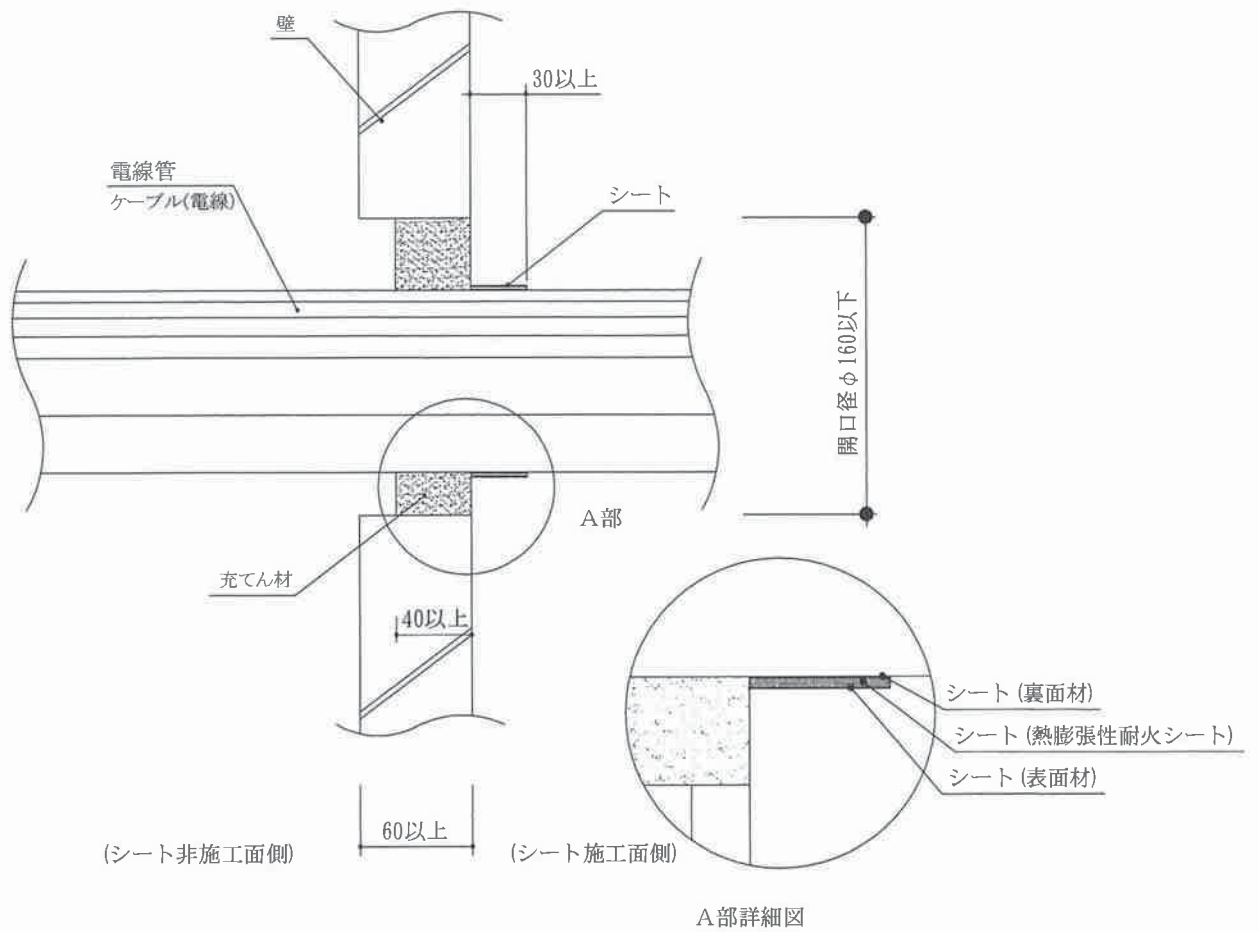
注2) 電線管・ケーブル等の配置の一例を示す

図3 施工図



立面図(シート非施工面側)

立面図(シートの施工面側)



(シート非施工面側)

(シート施工面側)

A部詳細図

鉛直断面図

注1) ALCパネル、鉄筋コンクリート造等の場合
 注2) 電線管・ケーブル等の配置の一例を示す

図4 施工図